

# 山行報告書

作成:2013年5月6日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	金剛堂山[1637.9m]	目的[方法]	白山を展望する静かな山旅
期間	2013年4月28日(日)	形態	日帰りハイキング(山麓テント泊)
参加人数	4人		

## 行動記録:

### ◆4月28日(日): 2日目晴れ

TS1 起床(400,520) = (0:24) = 広域基幹林道「高成線」(544,630) = (0:45) = 栃谷登山口 P(715,740) - (0:12) - 渡渉点(752) - (0:28) - 1km地点(820) - (0:32) - 1.5km地点(852) - (0:44) - 片折岳(936,950) - (0:50) - 4km地点(1040) - (0:33) - 金剛堂山(1113,1200) - (0:50) - 片折岳(1250,1300) - (0:23) - 1.5km地点(1323) - (0:14) - 1km地点(1337) - (0:28) - 渡渉点(1405) - (0:10) - 栃谷登山口 P(1415,1438) = (0:05) = 天竺の湯(1443,1606) = (0:50) = 栃波 IC(1656) = (0:24) = 金沢東 IC(1720) = (0:09) = パロー(1729,1750) = (0:40) = 西尾平 P(1830)[TS2] 就寝(2200)

## 概念図:



## アプローチメモ:

- ◆ETC 料金  
栃波～金沢東:450円〔休割〕
- ◆駐車場  
栃谷登山口:広いスペース  
トイレあり(使用不可)  
ガイドブックには水場があると書いてあったが気付かなかった
- ◆温泉  
天竺温泉の郷「天竺の湯」:600円  
0763-68-8400
- ◆西尾平休憩所:  
駐車場14台  
休憩所、トイレあり、冬季閉鎖中  
水場なし

## 日誌:

今回のメインである人形山へ向かう。川沿いの林道を行くと前方に雪崩跡が。登山口までの林道はまだまだ続くのだが足止めされる。同じく足止めされた地元?のおじさんが、人形山がダメなら金剛堂山へ行くといい。山頂まで2時間30分だそう。前方には大きな人形山がそびえ立っているが、あの稜線に立つことは無理であろう。あえなく金剛堂山へ変更する。

金剛堂山の登山口である栃谷登山口はスノーパレー利賀スキー場の先にある。登山口には、先ほどのおじさんの車に合計3台。百瀬川に掛かる鉄の橋を渡り、対岸から栃谷沿いに登る。すぐに雪道となる。雪はほどほどに締まっておりツボ足で歩ける。10分ほど歩いて渡渉すると、夏道を歩く。イワカガミ、キクザキイチゲが咲いている。標高1000mを越えると夏道はなくなり、前日の積雪のため思いがけず真っ白な新雪を歩くことができる。1、1.5、4km地点と道標がある。1.5km地点から片折岳はブナの原生林が続き、青空に白い雪で気持ちのいい雪山歩きを堪能する。片折岳からの展望もよく人形山、三ヶ辻山がよく見える。4km地点を越え金剛堂山に近づくと霧氷が残っていた。途中僅かな雪庇があるが、危険箇所はない。山頂は前金剛、中金剛、奥金剛と3つのピークがあり、前金剛を金剛堂山と呼んでいる。山頂は木々がなく360°の大展望。白山をはじめ、御岳、乗鞍、北アルプス、立山連峰が見える。おじさんの他に数パーティ、何度となく登っている人もいて地元の人に愛されている山であろう。

下山後、天竺の湯に入り、買い出しをして、西尾平Pに着く。ここで宴会。山のてんぐらの伝授を受ける。

## 感想:

思いがけず新雪の山歩き、360°の展望に大満足。今回の山の候補に挙がっていたがこんなに良い山とは。また来てみたい。

参加者名